

編集後記

四十をすぎて、初めての子を授かりました。よし、俺もイクメンだ！と育児休業中の妻をあれやこれやと手伝ったのですが、あえなく失格の烙印を押されました。そもそも「手伝う」という言葉がまずいことを知りました。

そこで、子の日々の成長をじっくり見ることにしました。自分自身の記憶を辿っていくと、古タイヤの中で大人の靴を持ち上げるという2～3歳頃の出来事に到達します。子の成長を観察することで、己の生育歴ひいては人間の来し様に想像を巡らせる営みを始めました。

観察し続けて気づいたのは、やはり人間は動物だということ。生まれてすぐの頃によく見せたモロ反射。突然指揮者のように両腕をジャジャンと前に伸ばします。3～4ヶ月のころ、夕方になると何の理由もなく泣き始める黄昏泣き。あれこれ試した苦勞の末、抱っこしながら歩き続けることで泣き止むことを見つけました。これは輸送反応と呼ばれているようで、人間が外敵から逃げるとき、赤ちゃんも協力して静かにしてくれるのかもしれない。

自分の子のこうした本能的な動作は、見るたびに、この子はどこか遠くの古いところとつながっている…人間の悠久の歴史のようなものを感じさせてくれました。

1歳をすぎて、親の言うことをある程度理解できるようになり、少しは人間らしくなってきました。それでも、好奇心のおもむくままにファスナーやボタンをいじくり回し、パトカーのサイレンに嬉々として反応しています。好奇心はこれもまた本能なのでしょう。本能的動物に親は振り回されています。

好奇心を満たすために研究するということは人間にとって正に本能的な行為なのでしょう、これを仕事とする有り難い立場を授かりました。そして、プラズマ研究者でありながら私にとって未知の分野であったプラズマ・核融合学会で仕事をするという機会にも恵まれ、関係の先生方に感謝を申し上げます。産まれたころには誰もが持っていた好奇心を大切に、これからも面白いことを探求していきたいと思います。(須田善行)

プラズマ・核融合学会役員

会 長：小森 彰夫 副会長：吉田 善章(推薦委員長:学会賞,男女共同参画委員長) 白谷 正治(推薦委員長:研究助成)
常務理事：室賀 健夫(総務委員長)
理 事：浅野 克彦(財務委員長) 浅野 史朗 上田 良夫(年会運営委員会プログラム委員長)
内野喜一郎(支部・地区研究連絡会委員長) 小野 靖(年会運営委員長) 岸本 泰明(研究部会連絡委員長)
草間 義紀 久保 博孝(広報委員長) 坂本 瑞樹
佐々木浩一(企画委員長) 白神 宏之 豊田 浩孝
長谷川 晃 波多野雄治(編集委員長)
監 事：利根川 昭, 森田 純子

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：波多野雄治(富山大) 副委員長：坂本瑞樹(筑波大)
エディタ：金子俊郎(東北大), 坂本瑞樹(筑波大), 中村祐司(京大), 長友英夫(阪大), 小西哲之(京大), 酒井 道(滋賀県立大)
編集委員：安堂正己(量研機構), 石野雅彦(量研機構), 稲垣 滋(九大), 伊庭野健造(阪大), 太田貴之(名城大), 大西直文(東北大), 小田昭紀(千葉工大), 小田卓司(ソウル国立大), 神吉隆司(海上保安大), 古閑一憲(九大), 齋藤和史(宇都宮大), 佐々木徹(長岡技科大), 佐藤雅彦(核融合研), 清水昭博(核融合研), 須田善行(豊橋技科大), 高橋裕己(核融合研), 高橋光俊(助川電気工業), 龍野智哉(電通大), 近田拓未(静岡大), 仲野友英(量研機構), 西塚直人(NICT), 比村治彦(京都工繊大), 村上朝之(成蹊大), 八木重郎(核融合研), 八柳祐一(静岡大), 柳 長門(核融合研), 余語覚文(阪大), 渡邊裕樹(首都大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第93巻第4号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2017年(平成29年)4月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。